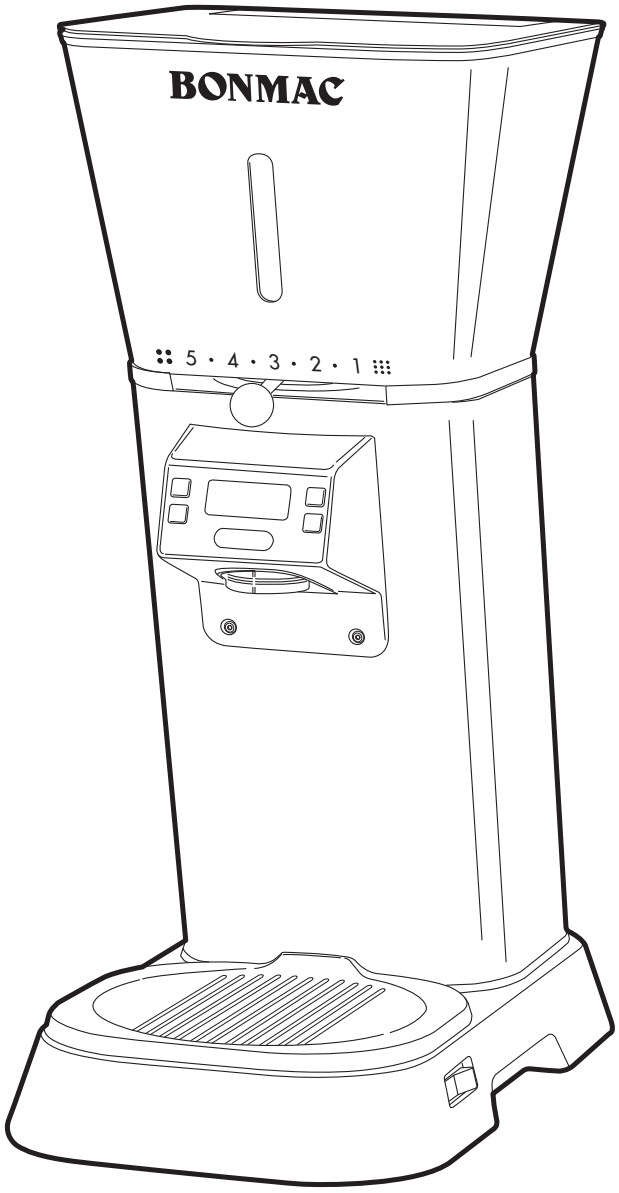
業務用コーヒーグラインダー

BONMAC

コーヒーグラインダー
自動計量機能付

BM-860

取扱説明書



目　次　頁

- 安全上の注意事項 …… 1
- 各部の名称 …… 2
- 操作方法 …… 3～5
  - 運転準備 …… 3
  - 操作方法 …… 3
  - モード・操作方法の説明 …… 4
  - メモリーモード設定方法 …… 5
  - 各種設定 …… 5
- 清掃 …… 6
- エラーコード、故障診断 …… 7
- 仕様 …… 8

このたびはBONMAC BM-860コーヒーグラインダーをお求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかり易い場所に大切に保管してください。

安全上の注意事項

ご使用になる前に　この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

表示内容は次の通りです。

⚠ 警 告　守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。

⚠ 注 意　守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

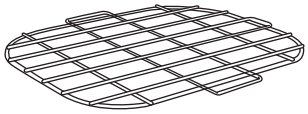
これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

⚠ 警　告
アース線は、必ず専用のアース端子に接続してください。
電源は、タコ足配線での接続はしないでください。
Y 型取付機器の電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、製造業者もしくは、その代理店又は同等の有資格者によって行わなければならない。
機械に水をかけないでください。
水のかかりやすい場所や、湿気の多い場所には設置しないでください。
濡れた手で機械・コード・プラグに触れないでください。
機械の分解・改造は絶対にしないでください。
小さなお子様や、不馴れな方が機械に触れない様ご注意ください。
機械に異常を感じたら、ただちに運転を中止し、販売店へ連絡のうえ、その指示に従ってください。

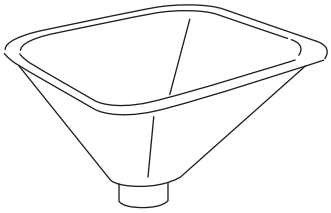
⚠ 注　意
振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。
屋外やこれに準ずる場所には設置しないでください。
運転中、ホッパー内に手を入れないでください。
排出口に指や異物を入れないでください。
高熱を発生する機械の周辺などでは使用しないでください。
清掃・点検時は、電源プラグを抜いてから行ってください。
営業終了後など長時間作業者がいない間は、電源プラグを抜いておいてください。
この機械は、コーヒー粉砕の目的以外に使用しないでください。

各部の名称

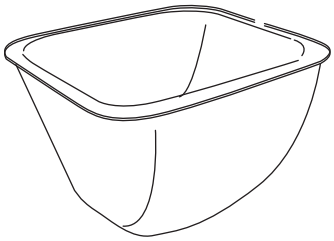
ホッパー内部



指入れ防止アミ

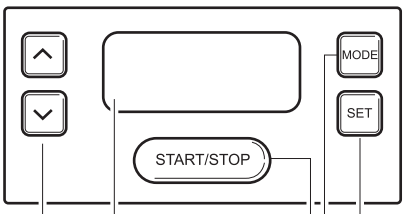


内ホッパーカバー



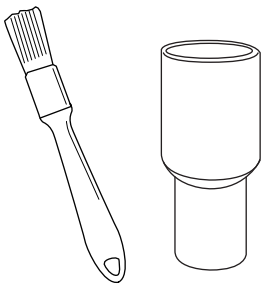
内ホッパー

操作パネル



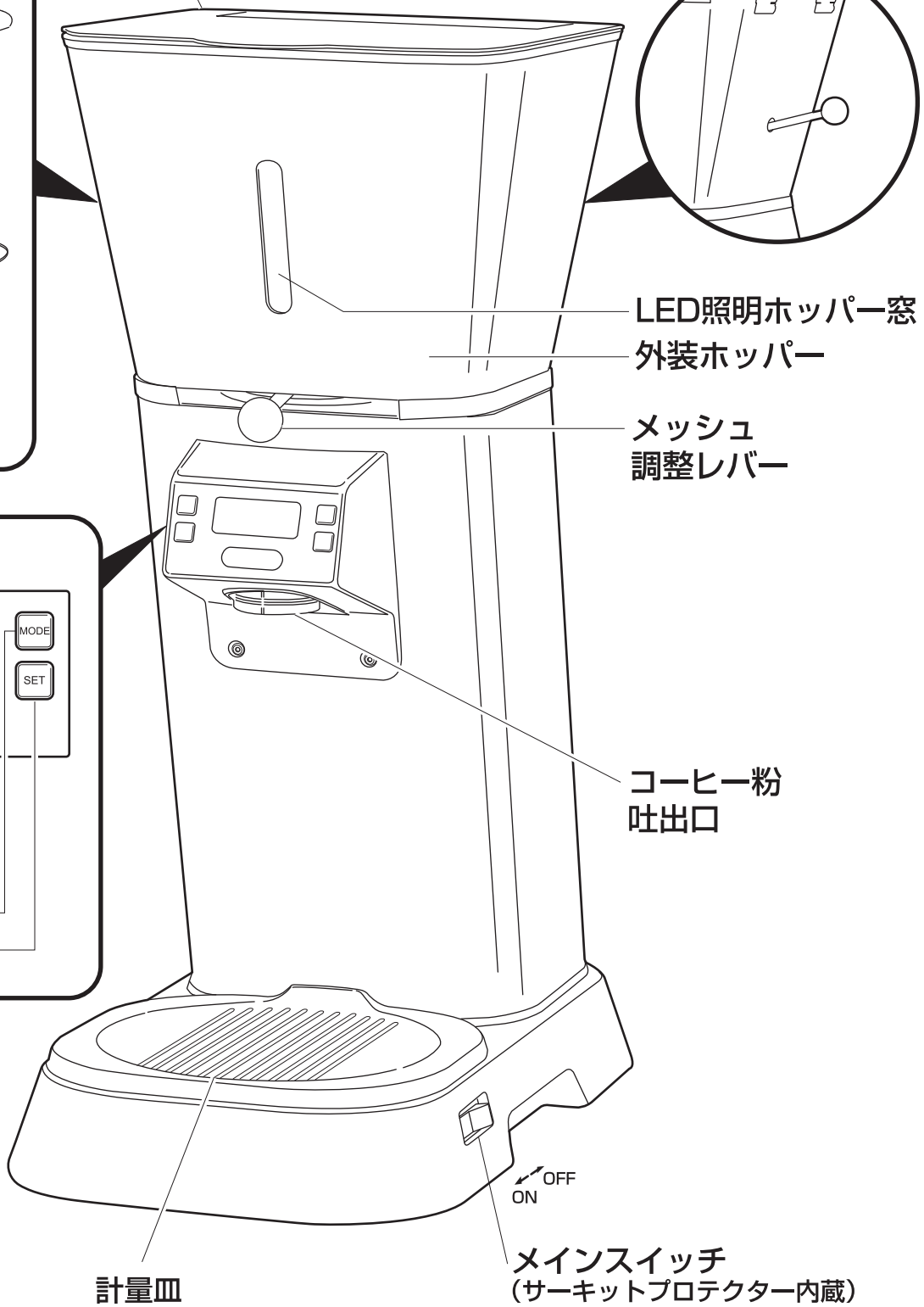
ディスプレイ
量設定ボタン
START/STOPボタン
MODEボタン
SETボタン

付属品



クリーニング用ハケ

吐出口ノズル

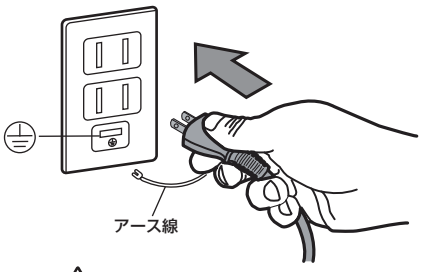


操作方法

操　作　方　法

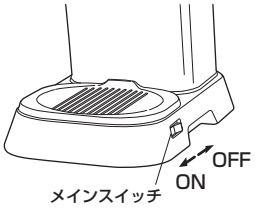
⚠ **本機は精密計量機器ですので、設置する設置台は必ず安定した平行な台に設置してください。**

1 プラグをコンセントに差込みます。



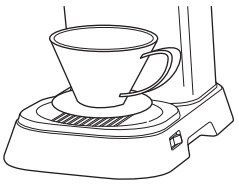
⚠ アース線は必ず接続してください。

2 メインスイッチをONにしてください。



※計量皿はメインスイッチを入れると自動計量モードになります、計量皿の上には何も置かないでください。

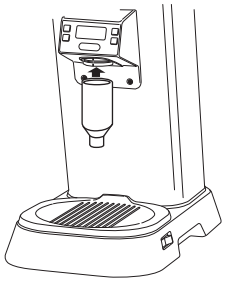
3 コーヒー粉吐出口の下に受け容器をセットしてください。



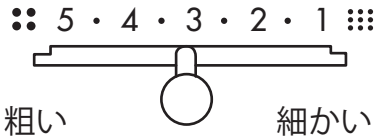
※1kg以上の容器は使用しないでください。

受け容器が浅い場合や粉の飛び散りがある場合

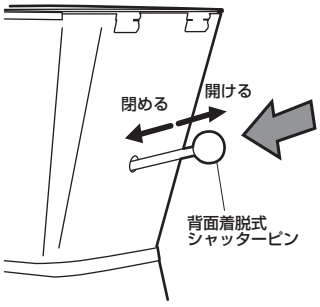
吐出口に付属品の吐出口ノズルをセットしてください。



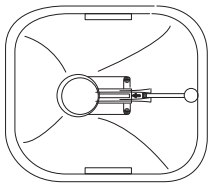
4 メッシュ調整レバーを希望メッシュの位置にセットしてください。



5 背面着脱式シャッターピンを押し込んでホッパーシャッターを閉め、ホッパーフタを開けて、ホッパーにコーヒー豆を入れます。ホッパーフタを閉めて、ホッパーシャッターを開けるとコーヒー豆が投下されます。

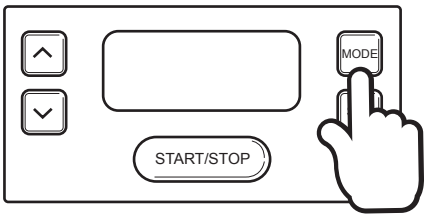


シャッターピンは左に回すと取り外すことができます。



※シャッターピンを外した場合、再度取り付ける際はホッパーフタを開け、真上からホッパー内を確認しながら取り付けてください。

6 モードを選択してください。



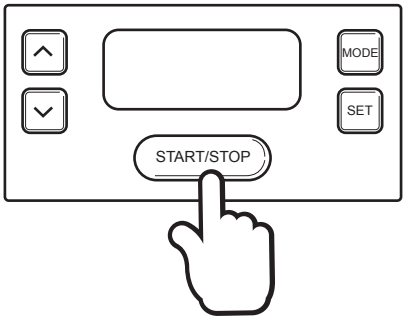
Fモード
（マニュアル操作）

gモード
（グラインド毎に粉量を設定）

メモリーモード
記憶させた粉量をグラインド
（M1～M3：3種類）

各モードの説明は4ページをご確認ください。

7 START/STOPボタンを押すとグラインドが開始されます。



Fモードの場合

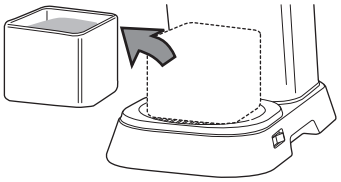
再度、START/STOPボタンを押すとグラインドを終了します。

gモード、メモリーモードの場合

設定した粉量になると自動でグラインドを終了します。

⚠ **同じ容器で、再度測る場合**

一度、容器をコーヒー粉受けより外し、再度セットしてください。



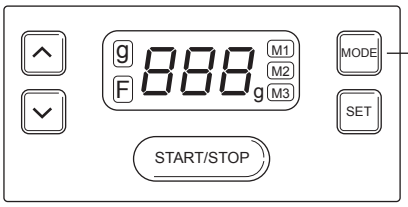
⚠注意　**本機で表示されるグラム数は、あくまで目安の数値となります。表示されるグラム数での販売（量り売り）はできませんのでご注意ください。**

モード・操作方法の説明

■ モード

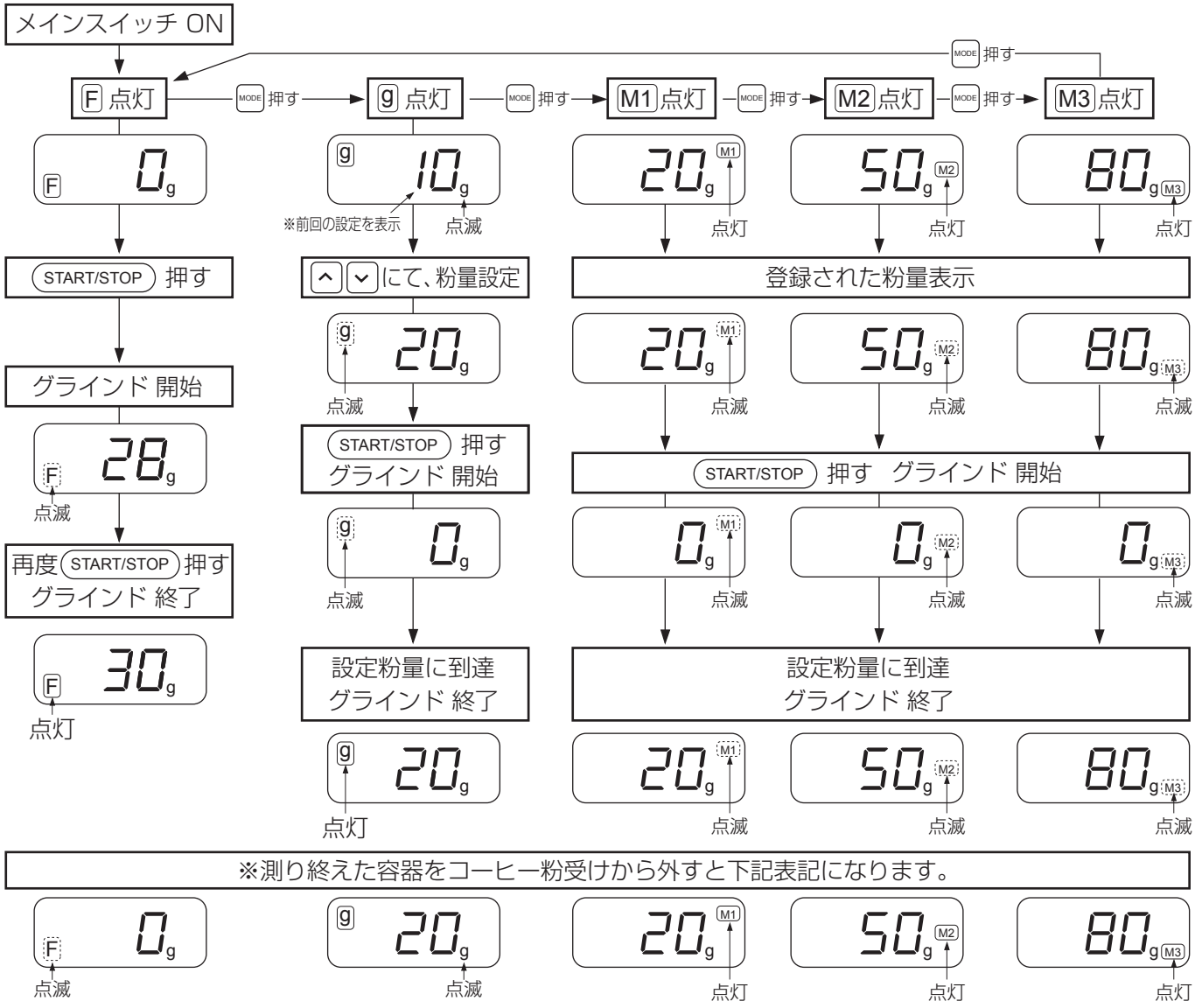
Fモード （マニュアル操作）	gモード （グラインドする粉量を設定）	メモリーモード （M1～M3：3種類）
スタート/ストップボタンにて、粉量を設定せずにグラインドします。	**設定した粉量をグラインド後に自動で停止します。**	**あらかじめ登録しておいた粉量を、グラインド後に自動で停止します。**

■ 各モードへの移行



MODEボタンを押すごとに、
【F】→【g】→【M1】→【M2】→【M3】と繰り返し表示されます。

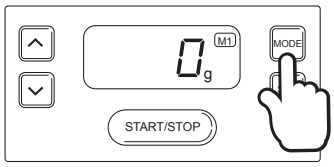
■ 操作フローチャート



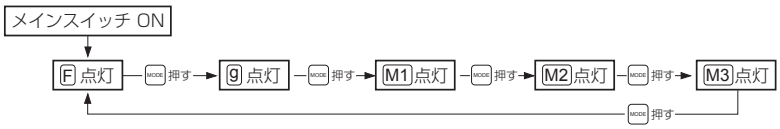
操作方法

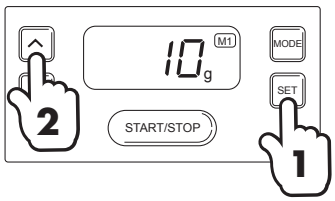
メモリーモード設定方法

M1に10gを設定する場合

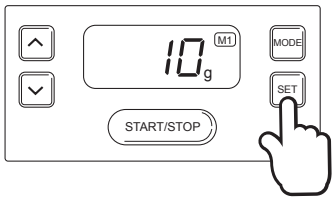


1 MODEボタンを押して登録したいメモリーモードを点灯させます。





2 SETボタンを押して、▲▼ボタンで数量を変更します。



3 10gにあわせたら、再度SETボタンを押すと設定が完了します。

START/STOP ボタンを押すと設定された粉量を挽きます。

引き続きM2、M3を設定する場合は MODE ボタンを押すと
次のMODEに移ります。

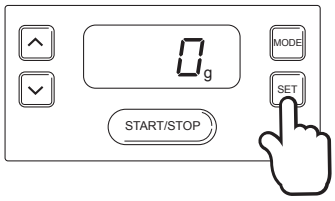
各種設定

■初期設定に戻す

**1 メインスイッチをOFFにして、
電源を切ってください。**

2 計量皿の上に何も載せないでください。

**3 操作パネルのSETボタンを押しながら
メインスイッチをONにしてください。**

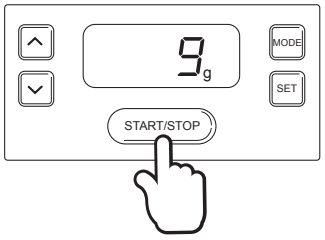


■ホッパー照明の調整

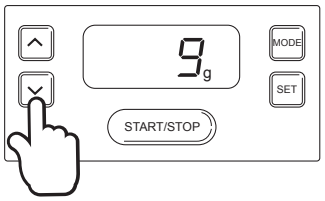
**1 メインスイッチをOFFにして、
電源を切ってください。**

**2 操作パネルのSTART/STOPボタンを押しながら
メインスイッチをONにしてください。**

ディズプレイが下記表示に変わり、照明の明るさの
調整が可能となります。



3 ▲▼ボタンで明るさを変更します。



照明の明るさ：1 ～ 9
（暗い）（明るい）

初 期 設 定：9

清　掃

※清掃の際は、必ず本機の電源を切った状態で、電源コードを抜いて行ってください。

※清掃の際は、スチールウール、金属ブラシ、針などの金属製あるいは摩耗性の道具やアルコール、洗浄剤は使用しないでください。

毎日の業務の終了時には、下記手順で内ホッパーを外し、
豆を別容器に移し替え、乾いた布で油を取り除いてください。

内ホッパカバーがコーヒー油脂などで汚れた場合別売品として購入できます。詳しくは、各支店・営業所へお問合わせください。

ホッパーの取り外し方

1 **メインスイッチをOFFにして、電源を切ってください。**

2 **ホッパーフタを開けてください。**

3 **指入れ防止アミを取り外してください。**

4 **背面着脱式シャッターピンを回して外してください。**

⚠ シャッターピンは必ず外してください。
外さずに作業をしますと、
内ホッパーの破損の原因になります。

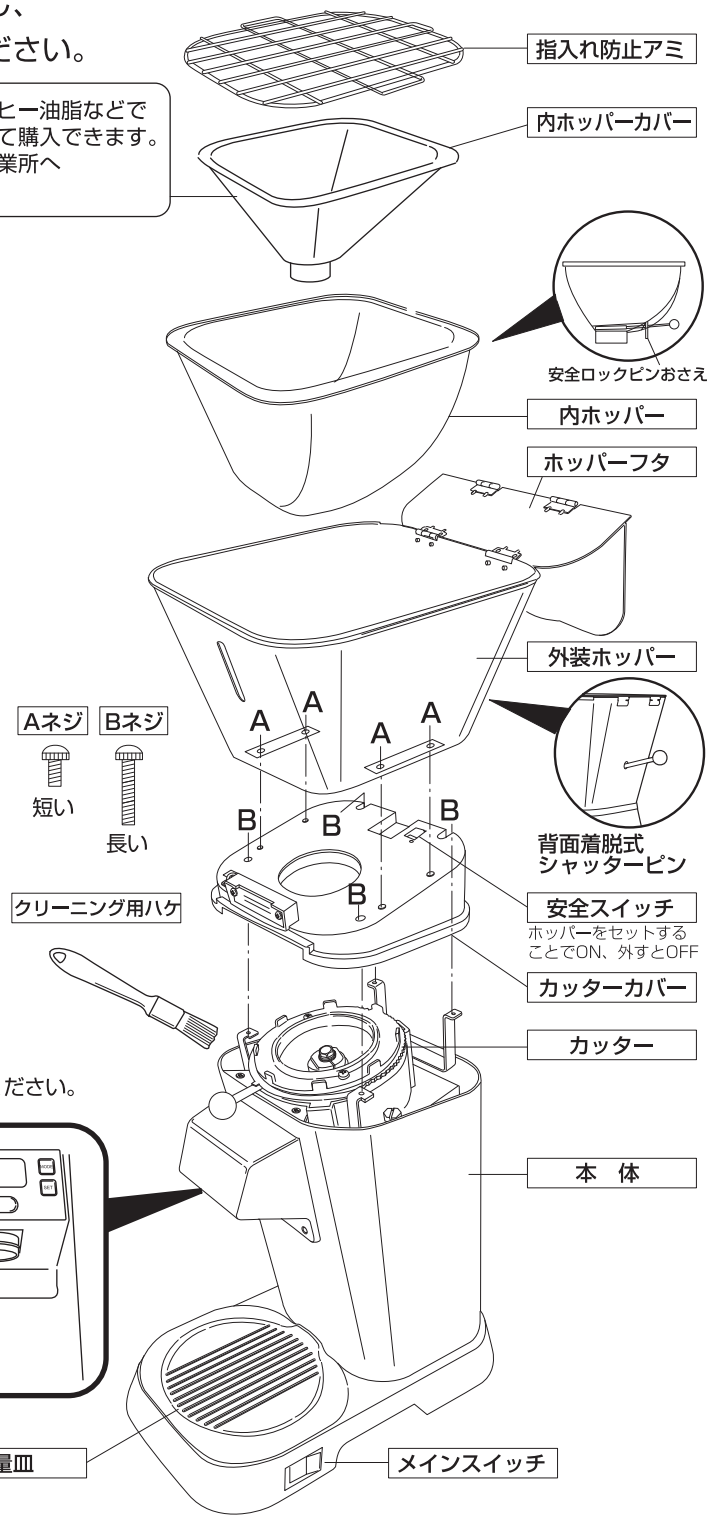
5 **内ホッパーカバーと内ホッパーを外装ホッパーより上に持ち上げ、取り出してください。**

6 **右図のAネジ ４本を取り外してください。（工具不要）外装ホッパーを上に持ち上げ、取り外します。**

7 **右図のBネジ ４本を取り外してください。（工具不要）カッターカバーを上に持ち上げ、取り外します。**

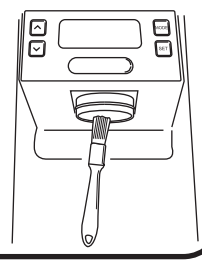
8 **内ホッパーカバーと内ホッパー清掃後は、逆の手順で組み立ててください。**

※シャッターピンは、真上からホッパー内を確認しながら取り付けてください。



コーヒー粉吐出口の清掃

カッター部周辺のクリーニングが
終わりましたら、クリーニング用ハケで
コーヒー粉吐出口も清掃してください。



計量皿は取り外せません、周辺を付属のクリーニング用ハケを使用してコーヒー粉を清掃してください。
油分を含んだコーヒーかすが残っていると悪臭のもとになり、コーヒーの風味を損ないます。
きれいな布で油分を含んだコーヒーかすを拭き取ってください。

清掃、故障診断

エラーコード

本機は、異常を検知した場合、エラー番号を表示して異常をおしらせします。

エラー番号	状　　態	エラー条件	復帰方法
E03	コーヒー粉受け、重量過多	グラインダー動作開始時に、計量皿に1,000g以上の重量がかかっている場合	電源再投入
E04	重量未設定	工場出荷時などで計量皿の重量設定がされていない。	電源再投入
E05	Fモード重量オーバー	グラインダー動作、測定重量が1,000gを超えた場合	電源再投入
E06	Fモードタイムオーバー	Fモードでグラインダー動作を3分以上経過した場合	電源再投入
E07	ホッパー内の豆きれ	gモード、M1～M3モードで5秒間重量変化がない場合	電源再投入
E08	ホッパー装着不備	ホッパーが正しく装着されていない。	電源再投入
E09	内部メモリーエラー	設定重量、モードが正しく記録されていない場合	電源再投入

故障診断

機械が故障した場合、または機械に異常を感じた場合は、直ちに使用を中断し、販売店に連絡の上、その指示に従ってください。

修理を依頼される場合、次の事柄をご確認の上ご連絡ください。

発生日時、発生時の状況（どのような時に発生したか）、具体的な症状

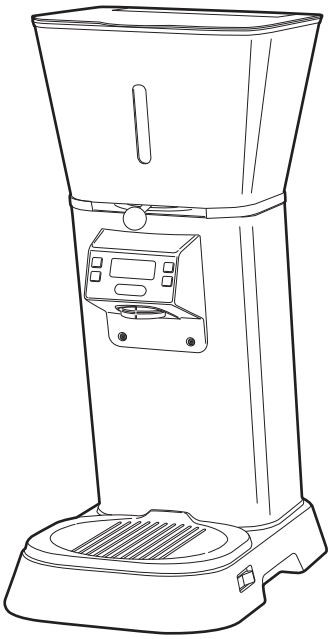
また、修理を依頼される前に、次の事柄をご確認ください。

故障症状	確認事項	処　　置
電源が入らない	電源プラグが抜けていないか 元電源（配電函のスイッチ）やブレーカーが切れていないか 電源コードが破損していないか	電源プラグをしっかりと差し込む 元電源を入れる 頻繁に切れる場合は修理点検依頼 電源コードが破損している場合は修理を依頼
グラインドできない	ホッパー内にコーヒー豆はあるか ホッパーシャッターは開いているか	ホッパー内にコーヒー豆を補充する ホッパーシャッターを開ける
グラインド時間が長い	グラインド設定を確認する	設定が正しい場合は、刃の寿命が考えられるので、刃を交換する

仕様

	BONMACコーヒーグラインダー
モデル	BM-860
外形寸法（mm）	幅 210 / 奥行 378 / 高さ 505
重量（約）	17kg（ホッパー含む）
ホッパー容量（約）	550g
電源：消費電力	単相 100V：700W
能力（約）	750g／min
定格時間	15分
計量機測定方法	ロードセル方式

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。



Memo

Memo

Memo

製品保証書

型式	BONMACコーヒーグラインダー BM-860	機番	保証期間
お客様	お名前　　様		お買上げ日より1カ年
	ご住所　〒		お買上げ日
	電話（　　）　　ー		＊　　年　　月　　日

＊販売店名

住所

電話（　　）　　ー

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。
ご販売店さまへ：＊印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
   （ロ）お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
   （ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
   （ホ）本書のご提示がない場合。
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   （ト）遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
   ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
   従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。
5. 商品の補修用性能部品の保有年数は、製造打ち切り後5年。

ラッキーコーヒーマシン株式会社

本　　社　〒658-0023　神戸市東灘区深江浜町95番　TEL(078)451-8300　FAX(078)451-5777

東京本部

広域営業部　〒105-0004　東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル　TEL(03)5400-3483　FAX(03)5400-5724

営業所

札幌営業所	〒004-0005	札幌市厚別区厚別東五条1丁目4番26号	TEL(011)898-3636	FAX(011)897-1467
東京営業所／東京ショールーム	〒105-0004	東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル	TEL(03)5400-5720	FAX(03)5400-5723
名古屋営業所／名古屋ショールーム	〒451-0046	名古屋市西区牛島町5番4号	TEL(052)587-7678	FAX(052)587-7677
大阪営業所／大阪ショールーム	〒537-0001	大阪市東成区深江北3丁目5番7号	TEL(06)4259-2655	FAX(06)4259-2660
福岡営業所	〒813-0062	福岡市東区松島6丁目2-1	TEL(092)292-0335	FAX(092)292-0356
福岡ショールーム	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前1丁目9-3 博多駅前シティビル	TEL(092)292-0335	FAX(092)292-0356

20.07 RE